令和 6 年度 授業評価アンケートに基づく自己点検・評価

健康・医療データサイエンス教育プログラム（文科省認定　リテラシーレベル）

1. 令和 6 年度の実施状況と評価方法

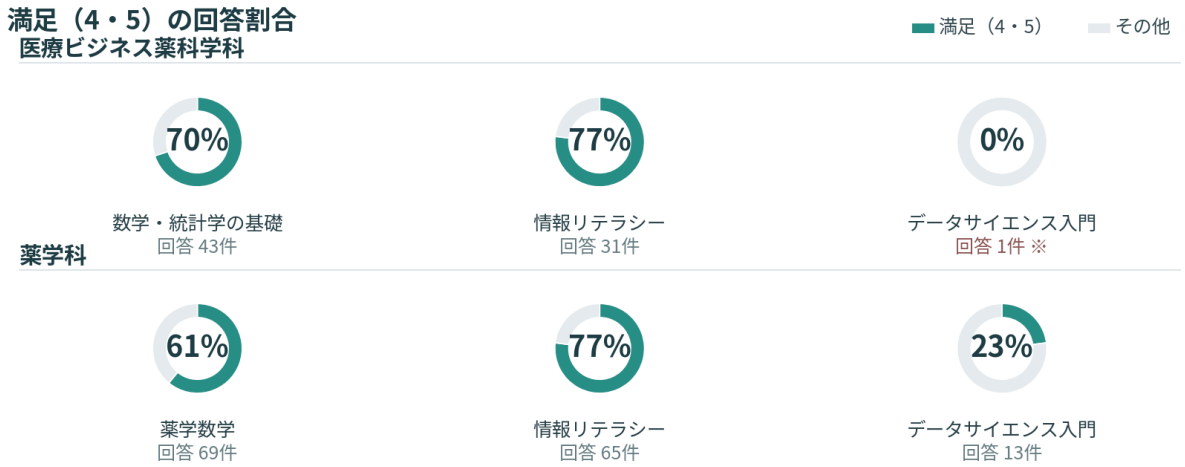
令和 5 年度の検討を踏まえ、令和 6 年度から「データサイエンス概論」と「データサイエンス入門」を「データサイエンス入門」に統一し、学科共通の科目とした。同科目は 1〜4 年次のいずれでも履修可能とした。また、前年度に説明や課題の難しさを指摘する意見があったため、令和 6 年度入学生には 2 年次での履修を推奨した。これに伴い、令和 6 年度の履修者は少数となった。

履修時期が学生によって異なり、修了時点でプログラム全体を一律に評価することが難しいため、前年度と同様に構成科目ごとの授業評価アンケートを用いて点検した。

2. 授業評価アンケート結果

学科	科目	回答件数	満足度	わかりやすさ	理解度	満足（4・5）
医療ビジネス薬科学科	数学・統計学の基礎	43	4.05	3.91	3.81	70%
	情報リテラシー	31	3.97	3.90	3.74	77%
	データサイエンス入門	1	3.00	3.00	3.00	0% ※
薬学科	薬学数学	69	3.84	3.96	3.78	61%
	情報リテラシー	65	4.15	4.31	4.35	77%
	データサイエンス入門	13	2.54	2.31	2.62	23%

注：5 段階評価の平均値。回答件数は科目別の延べ件数（合計 222 件）であり、学生の実人数・履修者数ではない。満足（4・5）は満足度設問で 4 または 5 を選んだ割合。※回答 1 件の数値は参考値。



集計にあたっての留意点：薬学科の「情報リテラシー」は前期、その他は後期のアンケートによる。

3. 自己点検・評価（令和 5 年度からの継続的な確認）

・令和 5 年度の課題を踏まえ、データサイエンス系科目の統一と履修年次の柔軟化を実施した。履修機会の整備は進んだが、授業の理解しやすさが改善したかどうかは、今回の結果だけでは確認できない。

・数学系・情報リテラシー系の 4 科目では、満足度が 3.84〜4.15 であり、一定の肯定的評価が得られた。一方、薬学数学では教材の見やすさ、情報リテラシーでは一部操作の説明速度などに改善を求める意見がみられた。

・統一後の「データサイエンス入門」は、薬学科で意欲 4.31 に対し、満足度 2.54、わかりやすさ 2.31、理解度 2.62 であった。自由記述では、課題量、初学者向けの説明、講義動画の音声、評価方法の説明や質問への対応について改善を求める意見があった。

・医療ビジネス薬科学科の「データサイエンス入門」は回答 1 件にとどまり、学科としての授業評価を判断することはできない。薬学科も回答 13 件であり、年度間の数値差を改善・悪化の根拠とすることは避ける。

4. 次年度に向けた改善方針

・データサイエンス入門：初学者を想定して解説の難易度と進め方を見直し、課題量や教材・動画の視聴環境を点検する。評価方法や課題の変更・連絡は学生に分かりやすく示す。

・数学・情報系科目：資料の見やすさや操作説明の速度に留意し、理解度に応じた支援を続ける。

・評価方法：科目別評価を継続しつつ、実際の履修者数とアンケート回答件数・回答率を把握する。履修時期が異なる学生についても、プログラム修了時に学びを確認できる方法を検討する。

5. 総合所見

令和 6 年度は、構成科目の統一と履修時期の柔軟化を進めた。一方、授業評価からは「データサイエンス入門」の分かりやすさに課題が残り、少数回答のため評価にも限界があることが確認された。現段階では教育プログラム全体の学修目標達成を断定せず、科目別の点検結果をもとに授業内容と評価方法の改善を継続する。